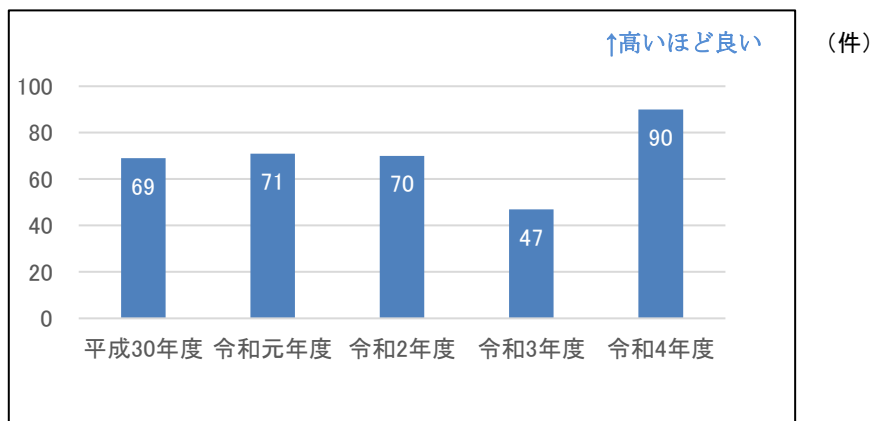


13 緊急帝王切開数

○項目の解説

妊婦が自然分娩できない場合や、何らかの理由で早急に出産が必要な場合は帝王切開が必要になります。帝王切開は予定され実施する場合と、母体や新生児に何らかの事態が生じたため緊急に実施する場合があります。緊急時に帝王切開が必要になった場合、帝王切開を行うことのできる医師、生まれてきた新生児への治療ができる小児科医師、麻酔医、看護師、手術室などの設備が必要であり、緊急時の総合的な周産期医療の提供能力を表現する指標といえます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

令和4年度の緊急帝王切開数は90件と昨年度に比べ増加しました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による市内病院のクラスター発生により、ローリスク妊婦の転院を多く受け入れたため、緊急帝王切開数が減少したと考えられました。令和4年度は、全国的な出生数減少を反映して当院での分娩数も減少し、ハイリスク妊婦の割合が多くなったために緊急帝王切開数が増加したのではないかと考えられます。

また、当院は精神神経科、脳神経外科、小児外科を始め、多くの専門診療科による集学的治療が可能な道北唯一の周産期母子センターであり、母体合併症妊娠・胎児疾患合併妊娠に対応しています。

緊急帝王切開においては、緊急度に応じたグレード分類を行って対応しています。そのため、超緊急のグレード S 緊急帝王切開では宣言から15分以内での児娩出を可能にするためのシミュレーションを行うなど、麻酔科、手術室の協力を得て万全な態勢を整えており、国内最高水準の母子ともに安全な周産期医療の提供を目指しています。

○定義

DPC データを元に算出した、医科診療報酬点数表における、「K898 帝王切開術 1－緊急帝王切開」または、入院2日以内に「K898 帝王切開術 2－選択帝王切開」且つ「予定入院以外のもの」の算定件数です。

分娩患者に対する割合などではなく実数として評価します。

○算式

実数